

## 私を変えた先生との出会い

僕を変えた先生は、T先生といういつも笑顔で、怒るときはとっても怖い先生です。そんなT先生と出会ったのは5年生の時です。

5年生の僕は、学校に行かず毎日アニメを観たりゲームをしたりしていました。1学期の6月頃、僕は毎日のようにゲームをしていました。すると突然「ピンポン」という音がなりました。するとそこに来たのはT先生でした。普通、今までの先生たちは1、2回で来なくなりましたが、T先生は違いました。何と毎日のように家に来るのです。なぜそんなに学校に来させたいのかなと僕は疑問に思いました。

ある日のことです。僕は友達と遊んでいました。するとT先生が息を切らしながらやって来て、「ようやく見つけた。」と言い、僕の手をつかみました。その時僕は、先生なんて見たくもなかったのであせりました。そこで僕は、とっさに先生の手を離して家に帰りました。そしたら先生が追いかけて来ました。そこで先生が、「3分間だけ話そう。」と言ったので、とりあえず玄関を開けました。そしたら先生は一言だけ「明日学校に來い！」と言いました。だから僕は1日だけ行こうと考えました。すると、先生がもう一言「昼から來い。」と言いました。僕は、「はぁ。」と言いました。先生のその言葉に疑問が浮かび上がってきました。先生はなぜ昼から來いと言ったのか。そもそもなぜそこまで学校に來させたいのかということがどうしても理解できません。

次の日、僕は言われたとおり学校に行きました。すると、クラスみんなが大はしゃぎしていました。その時はちょうど給食準備の時でした。だからみんなは僕の耳が痛くなるくらい大はしゃぎでした。そこに先生もいました。「よく來たな。」と言って、今まで見たことのない笑顔を見た気がしました。それからは毎日学校に行けるようになりました。

もしその先生がいなかったら、今の僕は引きこもりだったかもしれません。そして今、先生がなぜ「昼から來い。」と言ったのか分かる気がします。それは、朝から毎日行っても長くは続きません。そこで先生は、おそらく最初から無理をさせないためだったのかなと思います。また、「学校に來い！」は、僕を引きこもりから抜けさせるためだったのだろうと思います。

今、僕は普通の中学生です。勉強も何とか追いついてきています。本当にT先生は一生忘れません。T先生には返しても返しきれない恩があります。ですが、必ず恩を返して、先生にまた会って学校の話をしたいです。

高見 宙馬  
(中学生)